秋に学んでおこう！

オンライン社会保障制度 例題

11/10、17に実施する「**オンライン社会保障制度**」の問題の一部を特別に公開します！
国家試験と同じ選択式の形式だけでなく、穴埋めや記述式などの問題も使用し、「覚える」だけでなく「考える」ことで、より確実な知識がつけられるようレクチャーします。

問1．診断後7日以内に保健所へ届けるものはどれか。
　1．結核　2．細菌性赤痢　3．エボラ出血熱　4．梅毒　5．腸管出血性大腸菌

☆それぞれの疾患は何類?
☆直ちに保健所へ届けるものと7日以内に届けるものはどう違う?

問2．令和3年における出生に関する知識で、選択肢を全て正しい統計に直してください。
　1．合計特殊出生率は1.54である。
　2．母親の年齢階級別出生率の高い年齢層は20代後半である。
　3．出生数は約97万人である。
　4．出生率は5.0である。

☆合計特殊出生率と出生率の違いは?

■穴埋め問題
〈出生率と出生数〉
令和2年　人口1000対　6.8　（840,835人）
令和3年　人口1000対【　　　　】（811,604人）

〈合計特殊出生率〉
令和2年　1.34
令和3年　【　　　　】

〈最も出生率の高い年齢層〉
令和2年　30～34　歳（女子人口1000対97.3）
令和3年　【　　　　】歳（女子人口1000対96.1）

※**合計特殊出生率**とは、女子の年齢別出生率の【　　　　　　】までの合計で、その年次の年齢別出生率が継続すると仮定した場合に、1人の女子が一生の間に生む平均子ども数を表す。
※【　　　　　　】とは、女児だけについての母の年齢別出生率を合計したものである。さらにこの女児が妊娠可能な年齢を過ぎるまでの死亡を見込んだものが、【　　　　　　】である。

※上記問題は、担当の松戸講師によるオリジナル問題です。

東京アカデミー難波校